



月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

FOOTMARK 図鑑 No.8

ベブースイミングのための水着

ベブーハーネス

ベブースイミングのレッスンは日本で始まったのは1976年。その頃指導者との共同開発で生まれたのが「ベブーハーネス」です。赤ちゃんが安全に運動でき、レッスンの教材として使用できるよう設計し、今では改良を重ね6代目となりました。「ベブーハーネス」は水遊び用ではなく、ベブースイミングのための赤ちゃんの水着です。

水泳用品

水着

市場開拓



IISP (国際水泳プログラム研究所) 認定のベブー水着

ケーブル
この部分に指をかけて、赤ちゃんの姿勢を保ちながら水中運動を行います。3段階の角度をつけることができます。

メーカーの役割

水泳帽の発売から、スイミングクラブさんとの繋がりができたフットマークは、日本でベブースイミングを広める活動をしていた指導者のご縁がありました。スイミングクラブのベブープログラムを立ち上げる際、「新しいプログラムには、必ず用具が必要。スイミングの発展のためにメーカーが加わってほしい。」と依頼され、その方と共同開発したのが、ベブーハーネスです。

日本製のベブーハーネス

西ドイツで研究が進んでいたベブースイミングは、ケーブルを持って指導することが特徴で、専用の水着が必要でした。しかし、日本の子供に合った水着に改良する必要があったため、安全ピンで止めていた肩部分をボタンで止めるなどし、安全への配慮をしました。現在の形は、2015年に改良されたものです。おむつを変えられるようにしたり、肩のボタンを外れにくくしたりしました。

市場をつくる

これをやりたい！という人の必要なものを開発していくと、それは商品群になります。当時は「赤ちゃんがプールに入るなんて大丈夫？」と言われていたベブースイミングも、指導者と一緒にセミナーを全国的に開き、啓蒙活動を行いながら、ベブーハーネスの販売をしていきました。ベブースイミングも今ではメジャーになっています。

生 誕 日 1976年

名前の由来 ベブースイミング発案者がハーネスとつけた。

ヒント 赤ちゃんのおむつカバーを作っていたからこそ、作ることができた。

アピール 水遊び用ではない、ベブースイミングのために考えられた商品設計。



ベブーハーネス第1号

ベブーハーネス第1号

ベブーハーネスの姉妹品

アンダーパンツ

ベブースイミングパンツ。立体的なギャザーが足まわりにフィットし、とっさのモレを防ぎます。



今日の語り部

もっとお客様の声に応えたいという思いから、常に商品の改良を続けることは、フットマークのものづくりの特徴だと思います。当時1歳だった子供とあちこちのベブースイミングを体験し、担当の先生には1年半ご指導頂きました。その素晴らしい共感に専用のwebページを開発、専門家の座談会実施やブログ発信など開発を通じてベブースイミングの魅力を再確認できました。

改良版の開発担当 佐野玲子

座談会の内容詳しくはこちら



FOOTMARK 53人目 人々

高野 裕子
takano yuko

入社年 2015年

部門 経営管理部

出身地 千葉県

趣味 映画・読書

私の健康法 駅まで歩く
こまめに動く



男女共用セパレート水着

体のラインを気にせずに泳げるスクール水着です。水泳授業に抵抗感がない子供たちが増えるといいな♪

私のおすすめ商品

あなたの知らない○○の世界

水泳シーズンに入る前に、知っておきたい。オートマチックゴーグル サイズ調整の方法



カチカチッ！



鼻ベルトの付け替えのコツや、ベルト調整の方法をレクチャーします！ここでは、動画の内容を一部抜粋して掲載していますので、詳しく知りたい方は動画をご覧ください！



CHECK

鼻ベルトの付け替え



1. 外す
鼻ベルトを強く引っ張って、ゴーグルのツメをくぐらせます。
2. 付ける
ゴーグルのツメに引っ掛けて、はめます。

ベルト調整



1. 緩める
スライド式バックルを横にスライドしたまま、長い方のベルトを引っ張ります。
2. きつくする
外側のベルトを引っ張ると、縮まります。装着したままきつくすることができます。



私の好きな映画ベスト3

最強のふたり

車いすの大富豪と黒人介護者ドリスの笑いとうちの映画。ドリスの愛のある遠慮なさとうちのモアセンスが最高。

最強のふたり



ダンス・ウィズ・ウルブズ



アメリカ開拓時代の白人将校と先住民の交流を描く映画。先住民の「風になびく髪」がとにかくカッコいい！

グリーンブック

1960年代、黒人ピアニストとイタリア人用心棒が一緒にアメリカ南部を旅する映画。酒場でピアノを弾くシーン100回は見ました。



グリーンブック

Table with

Pick Up!
BRAND

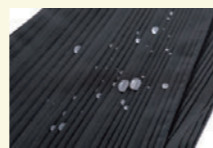
洋服の汚れを気にせずに、食事ができるエプロン。

外食や旅行中にお気に入りの洋服を汚してしまうのが気になる…。そんな大人のお悩みに応えたエプロンです。食べ物をこぼしても、しみ込みにくい特殊な加工を施しており、お気に入りの洋服を汚れから守ります。



ファッション感覚で

お着物との相性も◎



ぐるりと巻けばストールのように首元もカバー。気分に合わせてアレンジできます。

着物など絶対に汚したくない場面でも活躍します。上品なブリーツ加工がマッチ。

担当者に聞いてみた

■開発のきっかけは？

既存の「うきうきシャツエプロン」が2017年に全国紙のコラムで取り上げられた時、一般の人からの問い合わせが殺到。介護向けにつくった商品でしたが、「食べこぼす主人に着けさせたい」「歯磨きしている時に使いたい」など日常生活での用途を知り、アクティブなシニア向けに新たな商品を企画することになりました。

■こだわりは？

服の上からつけても違和感がなく、ファッションに溶け込むようなデザインを意識しました。また人前でも簡単に着脱ができるような仕様にもこだわっています。

■読者のみなさまへ

マイバッグならぬ、マイエプロンがあってもいいんじゃないでしょうか。年齢問わず、食べこぼしが気になる場面はあると思います。ラーメンを食べる時、食事用エプロンをカバンからサッと取り出して着用する。そんな光景が一般的になるかもしれません。これからの季節だとお花見や旅行のお供に、また母の日の贈り物などにもおすすめです。

お客様の声

20~90代まで幅広い年齢層からお声をいただいています

- ・軽くてコンパクトに持ち運びができ、寒い時はストールにでき便利。
- ・どうしてもどんを食べたい日も、汚れを気にせず食べられて便利。食べ染みをつけて人に会うのが気になる。
- ・着物の時に襟を汚してしまうので重宝しています。



男性用のベストタイプも

200年の歴史の「播州織」を使用した贅沢なエプロン。先染め糸で織り上げた豊かな色合いが特徴です。リパーシブルで毎日のコーディネートを楽しめます。

公式サイトはこちら



すみだめぐり

勝海舟 像 (かつかいしゅう ぞう)



住所：〒130-0001
東京都墨田区吾妻橋 1-23-20
墨田区役所前うるおい広場
入場料なし、終日見られます。
最寄り駅：浅草駅から徒歩7分



墨田区役所の隣、隅田川が見える気持ちのいい場所に、勝海舟の像があります。勝海舟は、1823年、江戸本所亀沢町(両国)生まれという、墨田区にゆかりのある偉人です。壮年期に新しい日本を思い描き、アメリカを目指そうとする瞬間を捉えた姿が像になっています。(像高 2.5m、台座も入れると 5.5m) 像の周りには桜の木があり、見頃になると美しい写真スポットになること間違いありません。左の写真は3/20に撮影したものですので、もう少しで満開の桜と勝海舟のコラボレーションを見ることができるとは思います。区役所1階アトリウムには勝海舟コーナーもあります。



蕎麦屋で修行を積んだ店主がこだわる、唯一無二の極太ちぢれ麺

手打ち 蓮

ラーメン 6分

森下駅より徒歩

森下駅から徒歩6分。昨年の12月、閑静な住宅街で開業したばかりのラーメン屋さんです。この日注文したのは「塩ら〜麺」(880円)。店先で見た「東京食肉市場元祖銘柄豚のポスター」が気になっていましたが、ラーメンの上にある煮豚と炙りチャーシューを見て納得、その謎が解けました。お店の看板でもある太縮れ麺は本当に太く、モチっとした歯ごたえ。ラーメン素人ですがこんな麺は初めてです。お腹と心が十分すぎるほど満たされた魅力満載のラーメンでした。次回は醤油味も食べてみたいです。最新情報はTwitterで。お客さんとのやりとりから、店主の温かさを感じます。



写真は炙りチャーシュー2枚をトッピングで追加

東京都墨田区千歳 3-16-2

日曜・祝日 11:30~14:30LO
火~土 昼の部 11:30~14:30LO
夜の部 18:00~20:00LO
定休日 月曜



Twitter

編集後記

春を感じるような、暖かい日が増えてきました。

先日、東京マラソンを沿道で応援したのですが、選手のみなさんが東京を観光しながら楽しそうに走る様子はお祭りのようでした。フットマークの本社のある両国もコースとなり、沿道が賑わっていました。42.195kmの中で「次はどこポイントで応援しよう」と地下鉄を使って移動し応援するのも、東京マラソンならではの楽しみ方かもしれません。(飯田)

フットマーク株式会社

東京都墨田区緑 2-7-12
広報室
webmaster@footmark.co.jp